

これは一人暮らしの身内に何かあった時に困らないためには何をしておけば良いかの記録

2023 年 7 月 26 日（水） 「女王蜂と働き蜂」

NHK で先日放送されたある養蜂家の話

1400 の巣箱をトラックに乗せ、春を追って南から北へ旅をする。女王蜂のいない巣は、働き蜂が落ちて着かなくて羽音が大きい。女王蜂を中に入れてやると落ち着いてその巣箱は生き延びるという。それを見極めないと巣箱は死んでしまう。現地に着くとまずは巣箱の点検から始めるという。

女王蜂と働き蜂。この関係は上下関係に思えるがよく考えてみると、女王蜂は働き蜂がいないと卵を産む場所がない。また女王蜂がいないと働き蜂は自分の役目を果たせない。これは横の関係、共存の関係ではないかと私は思った。

人にも、この関係はある。私はいつも「自分は人のために働くよう生まれついている」と思っている。現に星読みを生業とする娘が「ママは身近な人のために尽くす星を持っている」と伝えてきた。今はまさに姉の為に翻弄されている。昨日の面会でも「私は何もできない。あなたにすべてをお願いするしかない」と訴えて来た。

人間には感情や理性がある。この関係を「上下」と捉えるか「共存」と捉えるか。もし「共存」と捉えるならば、ともに意味ある存在として認め合い人生を豊かにそして喜びに変えることができるのではないか。認知症とわかった時点で私のスイッチは切り替わった。それまでの叱咤激励はやめて、とにかくやれることはやる。今後互いにどれだけ生きられるかわからないが、複雑な家庭に生まれ複雑な環境で育った私たちが互いに感謝しつつよりよい最後を迎えられたらいい。

女王蜂と働き蜂の関係、面白かった。

8 月 3 日（木）「断捨離と片付け」その 1

「断捨離」が叫ばれてもうかれこれ 10 年以上は経つと思う。

今回姉の事件で後片付けを請け負った身としていえる事は、「断捨離よりも日常の片付けがいかに大切か」ということ。この記事は余儀なくいきなり片付けを請け負った身の切実な言葉を受け止めて欲しい。

姉の立場＝独り身で賃貸に住む

①合鍵がなかった → 管理会社に変更になり鍵は 1 つしかなかった。

すぐに合鍵を作っておけば良かった。（6 月 29 日の記事参照）

②通帳の管理 → 幸いにして通帳は一括していつものバッグに入っていた。しかし暗証番号を忘れていて下ろせない。病院の支払い他全部立て替え払い。（後に従兄弟からもらったお見舞い金で元に戻せた）

③本人は病院に入院し、アパートは引き払うことになる。大家さんに連絡すると 1 ヶ月後に退去。その間にアパートの荷物の整理。行ってみると机の上やテーブルの上・床などに大切な書類や期限切れの書類が重ねて積み上げてある。

まず上記 3 点について。

①の合鍵はすぐに作った。

イオンの入り口に革製品を扱っている所で 5 分ほどで作れる。

②通帳の暗証番号は、古い連絡先を書いたメモ帳のどこかに書いたと言うので見ると 4 桁の番号が。すぐにメモる。翌日頭が冴えた時にこの番号がすらすら出てきた。 試しに 1 万円だけ下ろしてみたらで

きた。通帳は二冊あったがこの仕分けは聞いてもわからなかった。

対処方法としては、

- ・銀行名と暗証番号をわかるようにしておくこと。
- ・ゆうちょ銀行の方は書類があつて「委任状に自筆で本人の署名・下の段にこの人に委任します」と同じ筆跡で書いて提出すれば下ろせるとのこと。今回はそのままにしておくことにした。

③荷物の整理に関して。

・まずは掃除をしようと部屋に入り愕然とする。窓全開。暑いのでエアコンを入れ明かりをつけるとゴミと埃がものすごい。掃除機を探すも見当たらず物をどかせて押し入れを開けるとそこに押し込んであった。とりあえず掃除機をかけ埃を取る。

・息子に運び屋を頼んでまずは冷蔵庫を見てびっくり。冷凍室には入りきらないほどの食品が。野菜室には同じ物が何個も。空のペットボトルも入っている。 → この時点で認知症が進んでいる事を思い知らされた。(もう怒るのは止めよう。上手に接してこなかった自分にも責任がある。) 食べられそうな食品は我が家に運ぶ。

・本に関してはブックオフに連絡。しかし辞書はだめ、茶色く変色した本はだめ、書き込みのある本はだめ、ということではほとんど駄目だった。振込金額 1,340 円。

・管理人さんに聞いて、最終片付けをしてもらえる業者を教えてください。でもその前に大切は物は自分で抜かないといけない。この作業に翻弄した。何しろ片付けができていないので、どこから重要書類が出てくるかわからない。そして期限の切れた書類と生きている書類と一緒に置いてあるので全部開いて調べる事に。こうして 7 月 1 日から始まった荷物の整理は 28 日まで続いた。29 日に荷物撤去の立ち会いを行う。

出てきた重要書類は、

- ・義兄のお墓の権利書（お墓は移動しているはずなので内容は未定）
- ・義兄の死亡届の類い
- ・戸籍謄本（本籍は横浜）
- ・出雲の土地の権利書

（母が嫁入りで持ってきた土地を父と分筆した物。私は放棄した）

- ・生命保険・火災保険・各種契約書・アパートの契約書

どこから何が出てくるかわからないので気が抜けない。

最終的に本人が欲しかったのは・最近の日記帳と私が任意で選んだ最近の年賀状（この後転居の知らせをするため）そして義兄の遺骨

ここまで読んでもらってありがとう。伝えたいことは断捨離などと大げさな事は言わないで、日常の片付けをきちんとすること。

新しく来た書類は古いのと差し替え古いのは処分する。

通帳が新しくなったら古いのは 1 年くらいは取っておいてもそれ以上古いのはシュレッダーにかけて処分する。

机の上やテーブルの上に次々と重ねないで読んでいない物はその都度ゴミに出す。床に物を置かない。

新聞やダンボールなどは月に1回は回収されるので毎回出しておけば家の中にゴミは溜まらない。そして掃除はしましょう。断捨離よりも日常の片付けが大切です。

次回は、通帳から引き落とされる物を早くに解約すること。

8月3日(木)「断捨離と片付け」その2

朝いろいろと書き綴った(そのIに書いたこと)後、「私のたまたま箱」を開いて片付けを始めた。姉は「全部処分していい」と言ったが、以前にここに何かを書き込んでいたのを知っていたから気になって。そしたら「その1」で書いた懸案事項が全部書かれていた。全く驚いてしまった。

①本籍地 ②連絡してほしい所と知人友人関係

③生命保険 ④預金関係と暗証番号、印鑑、クレジットカード ⑤葬儀は「葬送の自由をすすめる会」で散骨して欲しいこと。 ⑥私物の処理について(日記、写真などは遠慮なく処分して下さい)本は神田の田村書店で。でもほとんど引き取ってはもらえないでしょう。 ⑦相続その他法律上の事に関しては弁護士の・・・と名前も書いてあった。でもこれを書いたのは東京にいた時だろう。認知症とは怖い物だとつくづく思った。これだけの事を書き残していながら「たまたま箱」を処分していいと言ったのだから。出雲の土地の権利書は大切にたまたま箱に保存。日野の墓地の書類がたくさんあったけどこちらはすでに更地にして返還したので、費用明細などを残して後は全部処分した。これで重要書類は多分終わっただろう。しかし驚いた。これだけしっかりと書き残していたなんて。

8月4日(金) 引落の解約

アパートを引き払う事になり、通帳から引き落とされている物を調べた。まず通帳を開いて月初から書き出してみると

①UC ②コープあいち ③新聞 ④SMBC ⑤CFC(ティーズプラ)

⑥電話 ⑦後期高齢者保険 ⑧電気 ⑨NHK ⑩CHVBB 損害保険 などがあった。

それぞれの電話番号をネットで調べ、新聞や電話はすぐに解約をした。NTT西日本はとても親切で「Wifiもこちらだから一緒に解約をしておきます。プロバイダーは別なのでそちらも解約して下さい」と丁寧に教えてくれてモデムが貸し出し品なので封筒を送るから返却して欲しいこと、その方法もきちんと教えてくれた。コープあいちは私も取っているので口頭で「注文はしないので行かなくていい」と伝えた。新聞は6月末で切ってくれた。困ったのは訳のわからないUC。カード会社だと知りネットで調べて電話をすると携帯電話のドコモだった。これも使っていないので即解約。一番最後になったのがSMBC。こちらもネットで調べてソネット(プロバイダー)だとわかった。アパートに積んであった紙の中からソネットのハガキを探しだし電話をするとオペレーターが出て私のスマホから解約する事ができた。実はネットから電話をしたらAIが出て何回も「認識できません」の返事に参っていた。損害保険は3月に2年分払い込み済みだったので8月末までの保証で9月1日付けで解約OK。すでに返金されている。こうした事務手続きは苦手ではないが時間がかかる。とても大変な作業だった。なにげに毎月引き落とされているが、この作業が遅れると使ってもいない物が勝手に差し引かれていく。これも一覧表にして電話番号などが書いてあると始末をする方としてはとても助かる。